

二言目

「偽物語」の OP

いま きみ
今だって 君のとなりで
いつだって 不安になるよ

まど そと み
窓の外 見ているフリで
ガラスに映る 君を見ていた

きみ わたし す
君は 私の どんなところを 好きになってくれたの? とか
きょう そんな 私で ちゃんと いられてるか いられてないか
い 行ったり 来たり もう ぐるぐるぐるぐる

ひとこと
その 一言でね
ぜんぶ ぜんぶ わす
ほら 全部 全部 忘れちゃって
ふたことめ
その 二言目で

また もっと もっと よくばりになる
きみ まえ ぜんぶ
君の前だと 全部 ほどかれてくの どこまでも

き 聴こえない位の声で ささやいた
きみ す
君が好きだよ

きみ き づ
君は ねえ 気付いているの?
いき こたえ ま
息をひそめて 答を待った

だれ ふしあわ うえ きず しあわ い み
誰かの 不幸せの上に 築く 幸せの意味とか
すべ じぶん き ただ まちが
全て 自分で 決めたくせに 正しかったのか 間違ってたのか
い 行ったり 来たり もう ぐるぐるぐるぐる

ひとこと
その 一言でね
ぜんぶ ぜんぶ わす
ほら 全部 全部 忘れちゃって
ふたことめ
その 二言目で

また もっと もっと よくばりになる
きみ まえ ぜんぶ
君の前だと 全部 ほどかれてくの どこまでも

ことば からだ かぎ
言葉で身体に鍵をかけたって
こころ なか しば
心の中まで縛れないけど..

ひとことめ
その一言目が
ねえ もしも もしも きみ 君だったら
つづ ふたことめ
続く 二言目
そう いつも わたし 私だといいな

ひとこと
その一言でね
ぜんぶ ぜんぶ わす
ほら 全部 全部 忘れちゃって
ふたことめ
その二言目で
また もっと もっと よくばりになる
きみ まえ
君の前だと だめだ.. ほどかれてくの どこまでも

いまだって きみのとなりで
今 君

いつだって ふあんになるよ
不安

まどのそと みているフリで
窓 外 見

ガラスにうつる きみをみていた
映 君 見

きみは わたしの どんなところを すきになってくれたの? とか
君 私 好

きょうも そんな わたしで ちゃんと いられてるか いられてないか
今日 私

いったり きたり もう ぐるぐるぐるぐる
行 来

その ひとことでね
一言

ほら ぜんぶ ぜんぶ わすれちゃって
全部 全部 忘

その ふたことめで
二言目

また もっと もっと よくばりになる

きみのまえだと ぜんぶ ほどかれてくの どこまでも
君 前 全部

きこえない くらい の こえ で ささやいた
聴 位 声

きみが すきだよ
君 好

きみは ねえ きづ いているの?
君 気付

いきをひそめて こたえを まった
息 答 待

だれかの ふしあわせのうえに きずく しあわせの いみ とか
誰 不幸 上 築 幸 意味

すべて じぶんで きめたくせに ただ しかったのか まちが ってたのか
全 自分 決 正 間違

いったり きたり もう ぐるぐるぐるぐる
行 来

その **ひとこと**でね

一言

ほら **ぜんぶ ぜんぶ わす**れちゃって

全部 全部 忘

その **ふたことめ**で

二言目

また もっと もっと よくばりになる

きみの**まえ**だと **ぜんぶ** ほどかれてくの どこまでも

君 前 全部

ことばで**からだ**に **かぎ**をかけたって

言葉 身体 鍵

ころの**なか**まで **しば**れないけど..

心 中 縛

その **ひとことめ**が

一言 目

ねえ もしも もしも **きみ**だったら

君

つづく **ふたことめ**

続 二言目

そう いつも **わたし**だといいな

私

その **ひとこと**でね

一言

ほら **ぜんぶ ぜんぶ わす**れちゃって

全部 全部 忘

その **ふたことめ**で

二言目

また もっと もっと よくばりになる

きみの**まえ**だと **だめ**だ.. ほどかれてくの どこまでも

君 前